

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	広島文化学園大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヒロシマブシカガクエンダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	社会情報学部
	担当教職員名・役職	新野正晶(教授・就職支援委員会委員長)
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	8
	受入企業等数	7
	受入企業等名	株式会社フレスタ、株式会社イズミ、株式会社福屋、シモハナ物流株式会社、株式会社ケアウイング(メディカルフィットネスクラブ ウイング呉)、医療法人社団恵正会、二村自動車株式会社
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	どのインターンシップにおいても、具体的な業務体験を通して、その業界の存在意義やその業界における職種の役割を理解するためのプログラムが用意されている。例えば物流会社でのインターンシップでは、企業の概要についての説明、先輩社員からの各種業務の案内、各部署の見学、配送業務と仕訳業務から物流管理、センターでの在庫管理、データ分析などについて、先輩社員の指導の下で、社員の一人として体験している。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次・3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	この科目は、インターンシップ(企業、行政機関、非営利団体などにおいて実習・研修を目的とした就業体験)を希望する学生を対象に、就業体験を通じて、職業意識を高め、自己の適性や能力を再発見し、もって人間的な成長を図ることが狙いである。具体的には、企業の選び方から事前エントリー(申込)手続に必要な作業、参加時の態度、マナーから事後の報告発表の仕方に至るまで講義し、実際の就業体験は夏季休暇期間に行っている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に関係教職員が企業訪問を行い、様子を見て一言声掛けをしている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップへ行く直前の7月中旬から下旬頃に、事前発表会を行っている。ねらいは、学生自身のインターンシップ参加に係る内容確認と意識の涵養にある。具体的には、各学生による、目的・目標の再確認、研修内容・日程の確認、意欲の表明である。また、教員はもとより企業担当者からも助言を頂くこともある。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	夏季休暇期間中のインターンシップが終了した9月下旬から10月上旬に、事後発表会を行っている。ねらいは、まさに学生の振り返りと就職活動に向けた意識の涵養にある。学生はインターンシップの参加目的と実際の就労体験の内容、体験で得た成果、感想そして今後の就職活動への役立ちについて発表する。また、教員はもとより企業担当者からも助言を頂くこともある。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	学生との面談までとはいかないが、インターンシップ中に教職員が企業訪問を行い、様子を見て一言声掛けをする。また企業によっては、最終日に学生の成果発表の場を設けていることがあり、大学関係者がその場に立ち会うなど参加して(お招きがある場合は出席して)、学生の成長を確認する機会としている。
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	

要素④	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ企業を選択するための合同企業説明会の参加、そこで得た情報を含めエントリーシートを記入・提出し、かつ、学内で事前発表会を行っている。また各企業から、事後に評定とコメントを書面で頂き、学生からの事後報告の内容と併せて、教育的測定を図っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	・5日間の企業の場合:実施期間7日間(うちインターンシップ実施期間5日)・3日間の企業の場合:実施期間5日間(うちインターンシップ実施期間3日)(いずれも、企業合同説明会への参加、事前発表会、事後発表会を含む。)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ」(正規科目)では、行政・企業・大学で構成された「広島県インターンシップ促進協議会」に参画し、手続を行っている。例えば、企業の選択から書類提出などの手続など、本学担当のインターンシップ支援コーディネーター(促進協議会側のスタッフ)を通じて、情報共有を行うとともに、インターンシップ先が決定したら、評価シートの活用も含め、直接、大学側と企業側とが情報交換を行いながら取り組んでいる。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	広島文化学園大学
	担当部署名	社会情報学部 学生部 就職課
	担当者役職名	就職次長
	担当者氏名	西尾明
	電話番号	082-884-1001
	メールアドレス	nishio@hbg.ac.jp